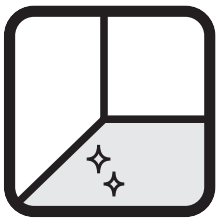
メラミンタイル
施工説明書

2026.01 改定

◎**メラミンタイルは、塩ビタイルと取り扱い方法、施工方法が異なります。**
メラミンタイルは材質が硬く、ご使用の環境によっては下地に追従しにくい場合があります。施工時は専用接着剤の用法を遵守し、必ず圧着工程を実施して施工してください。

施工される際は、下記の点を特にご注意いただき施工してください。





下地状態を確認してください。
平滑で施工に適正な下地状態を確認してください。
(P.4～P.5 下地の確認を参照)



必ず**専用接着剤**および製品付属のくし目ごてを
ご使用ください。
(P.7～P.9 専用接着剤塗布を参照)



接着剤は環境に応じて適切なオープンタイム*を
設け施工してください。
(P.7～P.9 専用接着剤塗布を参照)

*貼り付けを開始するまでにとらなければならない時間

リリカラ

1 施工時の注意事項 重要

運搬ならびに保管上のご注意 (詳細はP.11をご参照ください。)

◎納入後、製品を保管する際は開梱せずに平坦な場所に保管してください。
その際、梱包の積みすぎ、乱雑な積載は避けてまっすぐ積載ください。(製品の破損、変形の原因となります)
◎施工前、製品の反りがある場合は、製品に傷がつかないように平滑面を保護した後、製品を箱から取り出し、表面を下向きにした状態で積載し、室温 (10℃以上) になじませて養生してください。
高温高湿の場所は避けて保管ください。
反りが戻りにくい場合には、必要に応じて重しをかけるなどの対策をしてください。

施工前のご注意

◎メラミンタイルは塩ビタイルと取り扱い方法、施工方法が異なります。施工前にこの施工説明書をよく読み、正しく施工してください。
◎施工前に品番、ロット、数量および輸送時の破損、傷の確認をお願いいたします。
その後の責任は負いかねますのでご注意ください。
◎屋内床用途です。屋外への使用はできません。
◎裸足歩行の可能性がある場合は、必ず四辺C面取りタイプを使用し、カット部端部はペーパーなどで面取りして使用してください。
◎メラミンタイルは使用環境によっては艶の変化が発生することがあります。
◎水掛の激しい箇所への仕様はできません。風除室など雨水の吹き込みがあり、長期間濡れたままになる箇所への使用はしないでください。
◎既設床への重ね貼り、フリーアクセスフロアへの施工はしないでください。
◎アンダーカーペット配線システム (パナトラック等) には施工しないでください。
◎製法上、艶の差や高原、見る角度によって色調が異なって見える場合があります。色や自然な風合いを出すため、色ムラがあったり、同じ品番でも部位によって色が異なるものがあります。一度仮置きをして色柄の偏りがないかを確認の上、施工してください。
◎メラミンタイルは材質が固めです。施工前に試し切り等でカット性を確認してください。

施工上のご注意

◎建築基準法・火災予防条例などの法令・法規に従い、施工してください。
◎若干寸法のばらつきがあります。大面積を施工する場合は、目地ズレが発生する場合がありますのでご注意ください。
◎環境の変化により伸び縮みがあります。必ず標準工法、施工説明書に従って施工してください。(目隙や突き上げの原因となります)
◎湿気を帯びた下地や施工後に湿気を帯びる可能性のある下地には施工しないでください。(剥がれや浮きの原因となります)
◎10℃以下の環境では施工しないでください。
◎下地は必ず平滑にし、表面の汚れ、異物、突起物は完全に取り除いてください。(剥がれや浮き、目違いの原因となります)
◎下地の凹凸や段差、隙間は下地補修剤で平滑にしてください。
特に、突き付け納まりの場合は下地の不陸精度等の影響を受けやすいため、ご注意ください。
◎端部の貼り終いで、製品端面が露出しないようにしてください。ひっかかりによる剥がれなどの不具合に繋がる恐れがあります。
◎施工後の浮きや、下地の凹凸などにより、メラミンタイルに目違いが生じると、躓きによる転倒や端面への接触による怪我に繋がる恐れがありますので、施工説明書に従い、正しく施工してください。
◎施工中、施工後の養生期間中には換気を行ってください。
◎接着剤は専用接着剤を使用し、10℃以下の環境では施工しないでください。
◎接着剤による直貼り施工にのみ対応しております。ビス・釘の使用はしないでください
◎有機溶剤を含んだ専用接着剤を使用する場合は、火気に注意し、換気を十分に行ってください。
◎アクリル樹脂系 (RA-11) の接着剤は0℃以下の環境では凍結する恐れがあります。一度凍結した接着剤は使用できないため、必ず5℃以上の環境で保管してください。アクリル樹脂系 (RA-11) の接着剤で施工の際は、15℃を超える環境下で施工してください。
◎施工後は貼り付け可能時間内に全面を念入りにタイルローラー等で圧着してください。
◎専用接着剤については、SDSにて詳細な安全情報をご確認ください。
◎トーチランプ等で製品を温める際は、裏面から加熱してください。
表面から加熱した場合や、過度の加熱は製品の艶変化や焦げ、膨れ等の原因となりますので、ご注意ください。
◎施工中や養生期間はできるだけ温度変化を避けてください。
特に接着剤が硬化していない機関の温度変化は、床材の突き上げ・目地すきの原因となります。
◎事業者を対象とした業務用製品です。廃棄する場合は各自治体の分別に従って廃棄処理してください。
(メラミンタイル:廃プラスチック/段ボールケース等:紙類/各種接着剤:SDSを提示して廃棄物処理事業者へ処理委託)

⚠ 安全についてのご注意

下記の注意事項は、ケガや事故を未然に防止するためのものですので、必ずお守りください。

注意事項	
●**指定の専用接着剤以外は使用しないでください。** ●下地施工は材料メーカーが指定する方法を厳守してください。	剥がれ・浮きの恐れ
●運搬・作業時には滑り止め手袋を着用してください。 ●カット・加工した端部で手を切る可能性があるため、必ず端部をサンドペーパー等で面取りしてください。 ●使用する専用接着剤には有機溶剤が含まれていますので、使用時には火気に注意し、換気を十分に行ってください。	けがもしくは健康障害を生ずる恐れ

製品仕様

品名	厚み	サイズ	梱包入数	重量
メラミンタイル	3mm	150mm×900mm	20枚 (2.70m²)	15.4kg/ケース
		450mm×450mm	14枚 (2.83m²)	16.2kg/ケース

別売り施工部材			サイズ・容量	標準施工量	梱包入数
専用接着剤 ※専用くし目ごて同梱	溶剤系	リリカラセメントU (ウレタン樹脂系)	91272　16kg/缶 91273　5kg/缶	300～350g/m² (16kg → 45m²分) (5kg → 14m²分)	1缶
		アイカ工業(株)製 JB-63N (エポキシ樹脂系)	主 剤 A:10kg/缶 硬化剤B:10kg/缶	600g/m² (20kg → 33m²分)	1セット/ケース
	水系	アイカ工業(株)製 RA-11 (アクリル樹脂系)	91395　18kg/缶 91396　3kg/缶	300～350g/m² (18kg → 50m²分) (3kg → 8m²分)	1缶

※ 専用接着剤リリカラセメントU、JB-63N、RA-11はF☆☆☆☆です。
※ 各接着剤に専用のくし目ごてを同梱しております。詳細はP.7～P.9をご参照ください。

加工工具

① **切 断 加 工** カッター、落とし込み工具等
② **穴あけ加工** ドリル、ホールソー
③ **仕 上 げ** サンドペーパー、ヤスリ
④ **圧　　着** 端部抑えローラー、タイルローラー、トーチランプ※等

※トーチランプ等を使用する場合はメラミンタイル裏面から加熱してください。
また、表面から加熱した場合や、過度の過熱は製品の艶変化や焦げ、膨れ等の原因となりますので、ご注意ください。

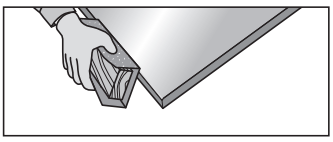
メラミンタイルのカット方法

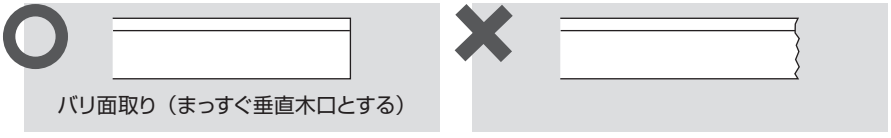


●カットは表面から行ってください。
●カッターは一度に切り込まず、数回に分けて刃を入れてください。
●カット面にバリが生じた場合は、サンドペーパー等で軽く面取りしてください。

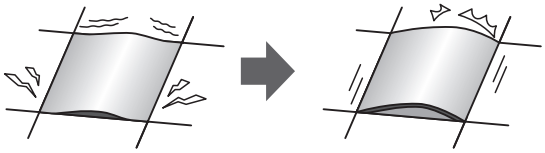
ご注意 施工精度に影響を及ぼさないために、
カット木口面の処理を行ってください。

※カット面の突き付け施工は、仕上がり精度にご注意ください。
※メラミンタイルは材質が硬めです。施工前に試し切りを行い、カット性等をご確認ください。



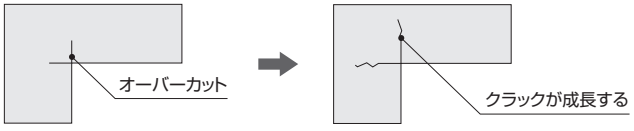


●カットの際は、寸法にご注意ください。
施工箇所の寸法に合わないタイルを無理やり押し込んだ場合、反発により施工不具合が生じる恐れがあります。



切り欠きの注意点

●メラミンタイルの切り欠き部分にねじる、ひねるなどの負荷を加えないでください。オーバーカット部分をきっかけに割れ・クラックが発生する恐れがあります。メラミンタイルをあたため、柔らかくすることで、切り欠きカット・施工時のクラックを抑制することができます。
●カット後のバリ、カケは、クラックの原因となる場合があります。
カット面をサンドペーパー等で平滑にしてください。



2 下地の確認 重要

下地の状況(湿気や平滑性、強度等)によって施工条件や仕上がり具合が異なります。
特に下地湿気や吸水性は接着に非常に大きな影響を与えるので注意が必要です。
下地の種類・特徴に応じた工法の選択と対処が必要です。

下地の状態が及ぼす影響

1 下地湿気 **湿気を帯びた下地や施工後に湿気を帯びる可能性のある下地には施工しないでください。**
(剥がれや浮き、突き上げの原因となります。)
コンクリート・モルタル水分計の測定値がグレードⅡb(水分指標10%以上)の場合には施工しないでください。
水系接着剤(RA-11)は耐水性が低いので、湿気の恐れのある場所では使用出来ません。

■下地湿気の測定方法

コンクリート・モルタル水分計による方法 ： 平坦で日光の直射や通風がなく付着物のない場所を選んで水分計で計測します。

下地含水区分と施工可否について

D.MODE測定値(HI-520-2)	施工可否			施工方法の目安
	溶剤系		水系	
	リリカラセメントU(ウレタン樹脂系)	JB-63N(エポキシ樹脂系)	RA-11(アクリル樹脂系)	
グレードⅠ(D.MODE440未満水分指標8%以下)	○	○	○	一般工法
グレードⅡa(D.MODE440以上620未満水分指標8～10%)	○	○	×	耐湿工法
グレードⅡb(D.MODE620以上水分指標10%以上)	×	×	×	施工不可

※ 高周波水分計HI-520-2型 D.MODEにて測定。　※グレード：日本床施工技術研究協議会「コンクリート床下地の表層部の諸品質測定方法・グレード」による。

2 平滑性 下地は必ず平滑にし、異物、突起物は完全に取り除いてください。
下地の凹凸や段差、隙間は下地補修材で埋めて、平滑にしてください。
下地補修材で下地を作成する場合、下地と下地補修材との密着が悪いと剥がれや浮き、目違いの原因となりますのでご注意ください。
下地補修材はポリマーモルタルや樹脂モルタル等の凝集力の強いものをご使用ください。
突き付け納まりの場合は下地の不陸精度等の影響を受けやすいため、ご注意ください。

3 亀裂 下地に亀裂がある場合は下地補修剤等により補修し、平滑にしてください。

4 汚れ 下地の汚れ(接着剤、塗料、防腐剤、ワックス等)は完全に取り除いてください。

5 表面強度・レイタンス レイタンス(粉ふき)が有るような脆弱な下地には施工しないでください。

6 たわみ 薄い合板などたわみのある下地には施工しないでください。

下地の種類のチェック

確認事項 1 ～ 6 (P.4参照)を確認し、下記に注意してください。

施工可能な下地について

下地種類	注意事項(チェックポイント)	接着剤使用可否		
		溶剤系		水系
		リリカラセメントU (ウレタン樹脂系)	JB-63N (エポキシ樹脂系)	RA-11※1 ※2 (アクリル樹脂系)
モルタル・コンクリート下地	モルタル・コンクリート下地が十分に乾燥してから施工してください。 不陸・凹凸・亀裂が無いよう、平滑に仕上げてください。 ちり・埃・塗料等が付着していないか確認してください。	○	○	○
セルフレベリング下地 (セメント系)	**セルフレベリング下地はセメント系を使用してください。** レイタンス(粉ふき)はないか等含め表面強度に注意してください。 打ち込み厚10㎜で常温7日、冬季14日以上と乾燥がおそいので下地湿気にも注意してください。	○	○	○
木質系下地 (12㎜以上の合板、20㎜以上のパーティクルボード)	たわみがある場合、厚さ12㎜以上の合板を目地を違えて施工してください。 下地接合部の隙間・段差・釘頭・ささくれの処理を行い、平滑に仕上げてください。古ペンキ・油・防腐剤・防蟻材等が塗布されていないか確認してください。	○	○	△※3
金属下地 (鉄板)	施工前には必ず防錆処理をしてください。 **接着剤はエポキシ樹脂系接着剤(JB-63N)を使用してください。** ビス頭や溶接部の凹凸はサンディングまたはエポキシ樹脂系下地補修材等で補修してください。 チェッカープレートなど激しい凹凸はエポキシ樹脂系下地補修材で補修またはモルタルを打設し下地を作ってください。 油分・塗料等汚れが無いか確認してください。	×	○	×

※1 アクリル樹脂系 (RA-11) の接着剤は、15℃を超える環境下で施工してください。
※2 湿気の恐れのある場所には施工できません。湿気の影響を受けない平滑な床に施工してください。
※3 木質系下地の場合は接着剤塗布後のオープンタイムや養生時間に注意してください。

その他、上記「**施工可能な下地**」に該当しない下地の場合は、必ず当社までお問い合わせください。

施工不可能な下地について

■湿気を帯びた下地
(水分指標 RA-11:8%以上 リリカラセメントU、JB-63N:10%以上)
■仕上げ済みの床
(塗装床、塩ビタイル、セラミックタイル、木質フローリング等)
■フリーアクセスフロア
■床暖房システム
■セルフレベリング下地(石膏系、樹脂系等)
■脆く、割れやすいもの(ALC板、石膏ボード等)
■石材系(人造石、天然石等)
■アンダーカーペット配線システム(パナトラック等)

ご注意

左記の適しない下地へメラミンタイルを施工すると施工後の浮き・剥がれなどの不具合が生じる恐れがあります。

対策 **施工可能な下地にする。**

施工方法

3 納まりの確認

下記の事項を遵守して墨出し、割り付けを行ってください。

①墨出し

墨出しをする際は、施工する箇所の中心点を定め墨出しを行ってください。(図1参照)
なお、端部のバランス等を考慮した割り付けとなるように墨出しされることをおすすめします。(図2参照)

図1

1. 部屋のA方向の寸法を2ヶ所で測り、それぞれの中心点を求め、その2点を結び墨打ちします。
2. 墨打ちした基準線上にB方向の中心点を求め、その中心点上にA方向の基準線を設けます。
3. 中心点から各辺に必要な枚数を算出します。

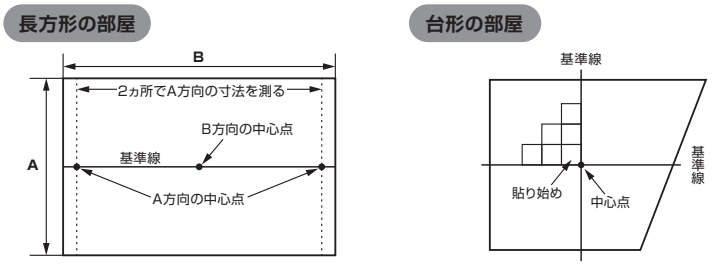
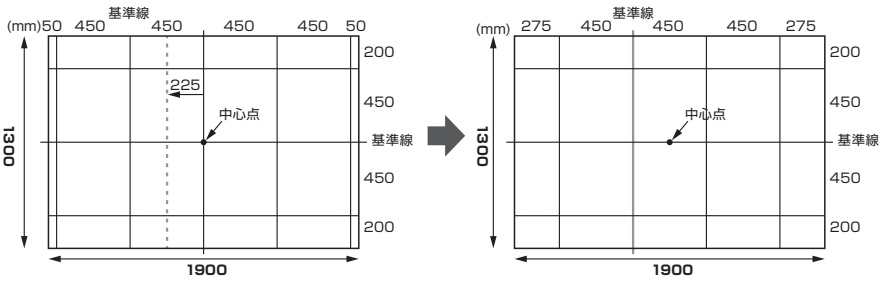


図2

1900㎜×1300㎜スペースにおける割り付け例
(450㎜角のメラミンタイルを使用)

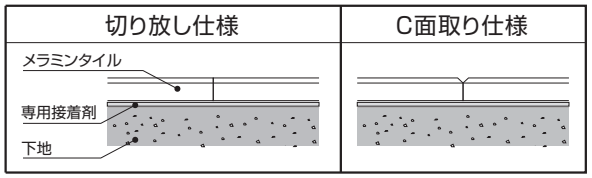
中心から貼り始めた際、左右に端物が入る場合、基準線を1/2 枚分ずらして貼り付け基準線とします。



②標準納まり

メラミンタイルは突き付け納まりか、目地棒納まりで施工してください。
端部が露出する場合、見切り金物(現地手配)などで木口の露出を防ぐ等してください。
引っ掛かりによる剥がれなどの不具合につながる恐れがあります。

■突き付け納まり



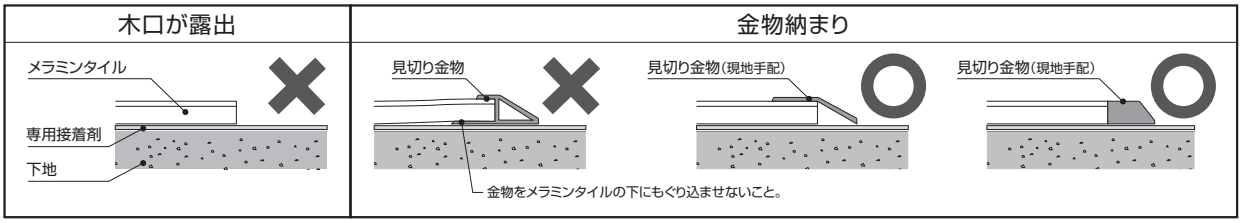
ご注意

突き付け納まりの場合は下地の不陸精度等の影響を受けやすいため、ご注意ください。裸足歩行される可能性がある場合には面取りタイプを使用ください。
大面積を施工する場合は、目地ズレにご注意ください。

手順

- ●墨出し線に従ってメラミンタイルを施工してください。
- ●**突き付け部は金属ローラーで念入りに圧着してください。**

■貼り終いの納まり



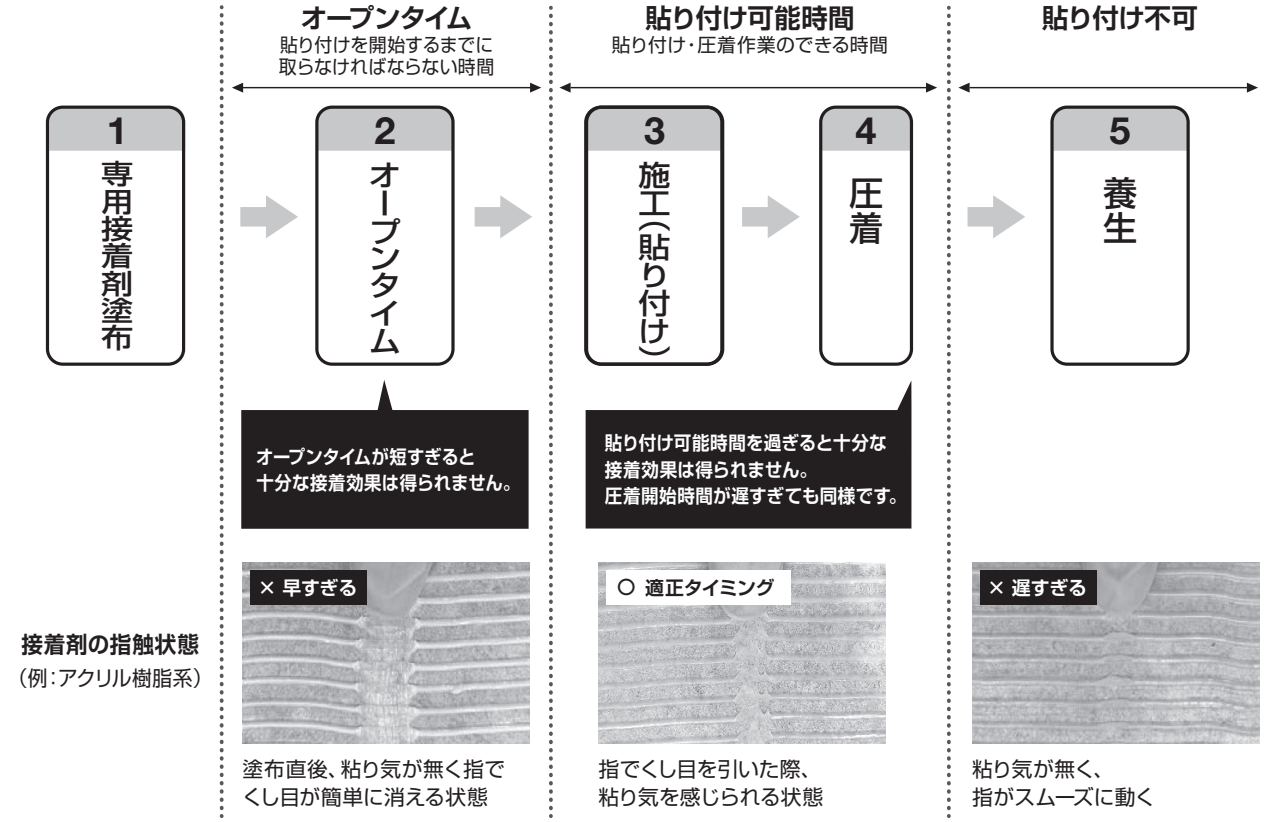
施工方法

4 専用接着剤塗布

下記の事項を遵守して、接着剤を塗布してください。

①施工する下地の種類、下地の条件、環境に応じて専用接着剤を選択してください。
（下地に関する専用接着剤の使用可否・選定方法についてはP.5をご参照ください。）
②ウレタン樹脂系（リリカラセメントU）、エポキシ樹脂系（JB-63N）の接着剤は10℃を超える環境下で施工してください。
（P.8をご参照ください。）（10℃以下では接着不良を起こす恐れがありますので施工しないでください。）
③アクリル樹脂系（RA-11）の接着剤は、15℃を超える環境下で施工してください。（P.9をご参照ください。）
④湿気のある下地には施工できません。（確認方法はP.4をご参照ください。）
⑤労働安全衛生法、消防法による規制があります。規制に従って施工してください。
⑥使用の前に、接着剤の容器に記載してある表示事項をご参照ください。
⑦メラミンタイルの施工には専用接着剤を使用してください。
⑧本製品は保管中経時的に若干の分離が起こることがあります。よく攪拌してからご使用ください。
⑨本施工説明書の専用接着剤のオープンタイム・貼り付け可能時間は、接着剤の塗布量や下地の種類、施工時の温度・湿度・通風の有無などにより変化します。

■オープンタイム・貼り付け可能時間について



⑩メラミンタイルの施工後、ローラー等で十分圧着してください。
⑪接着剤が十分効果を発揮するまでは、水洗い・急激な温度変化・重歩行は避けてください。
⑫ウレタン樹脂系（リリカラセメントU）、エポキシ樹脂系（JB-63N）の接着剤の使用時には施工後端部側へ十分に圧着を行ってください。
⑬一度容器から取り出した接着剤を容器に戻さないでください。
⑭接着剤の貼り付け可能時間や作業速度に応じ、必要な面積分だけ接着剤を塗布してください。
特に切り欠きが多い場合は作業速度に合わせて塗布面積を減らす等ご配慮ください。

専用接着剤について

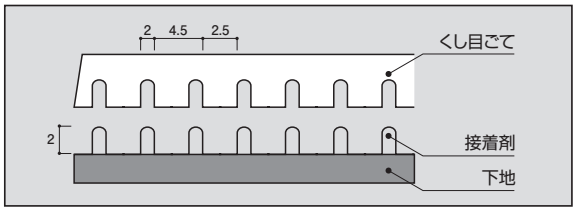
❶ ウレタン樹脂系(リリカラセメントU)の標準塗布方法

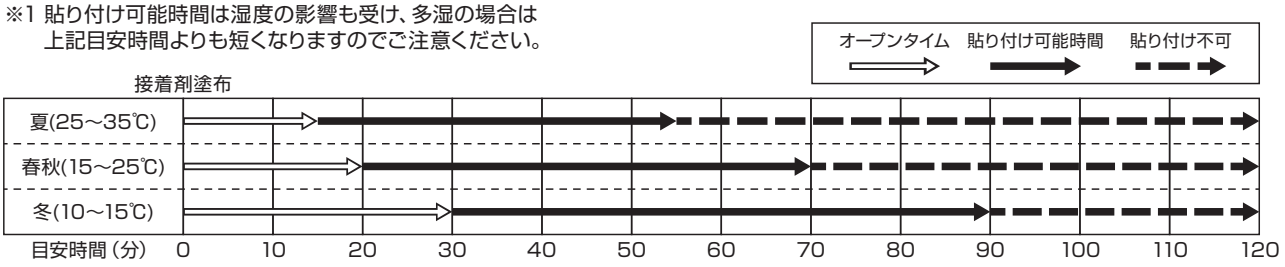
①下地は平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。ちり・埃・油等はきれいに拭き取ってください。
②リリカラセメントUは一液タイプなので原液のままご使用ください。
本製品は保管中経時的に若干の分離が起こることがあります。よく攪拌してからご使用ください。
③製品に付属のくし目ごてで均一に塗り広げてください。(標準塗布量:300〜350g/m²)
④現場環境に合わせ適切なオープンタイムをとり、貼り付け可能時間内で接着を行ってください。(下記参照)

想定温度	オープンタイム(目安)	貼り付け可能時間(目安)
夏(25〜35℃)	15分	40分
春秋(15〜25℃)	20分	50分
冬(10〜15℃)	30分	60分

※1 貼り付け可能時間は湿度の影響も受け、多湿の場合は
上記目安時間よりも短くなりますのでご注意ください。

■ 付属のくし目間隔 (リリカラセメントU)　(単位:㎜)





⑤貼り付け直後にローラー等で十分に圧着してください。端部等の浮き防止のため、貼り付け可能時間内に再圧着してください。
⑥メラミンタイル表面に付着した接着剤は直ちに濡れたウエス等で拭き取ってください。
容易に取れない場合は、メラミンフォーム(メラミンスポンジ)で水拭きしてください。

❷ エポキシ樹脂系(JB-63N)の標準塗布方法

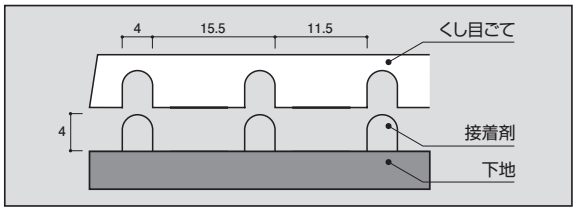
①下地は平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。ちり・埃・油等はきれいに拭き取ってください。
②JB-63Nは二液タイプなので、A(主剤):B(硬化剤)=1:1となるように、容器に取り出し全体が均一になるまで
十分に混合してください。
本製品は保管中経時的に若干の分離が起こることがあります。よく攪拌してからご使用ください。
③主剤と硬化剤の混合を行う際は、下地上で行わないでください。
(混合不十分な接着剤が下地材に染み込み、接着不良やメラミンタイルの変色が生じる恐れがあります。)
④製品に付属のくし目ごてで均一に塗り広げてください。(標準塗布量:600g/m²)
⑤現場環境に合わせオープンタイムをとり、貼り付け可能時間内で接着を行ってください。(下記参照)

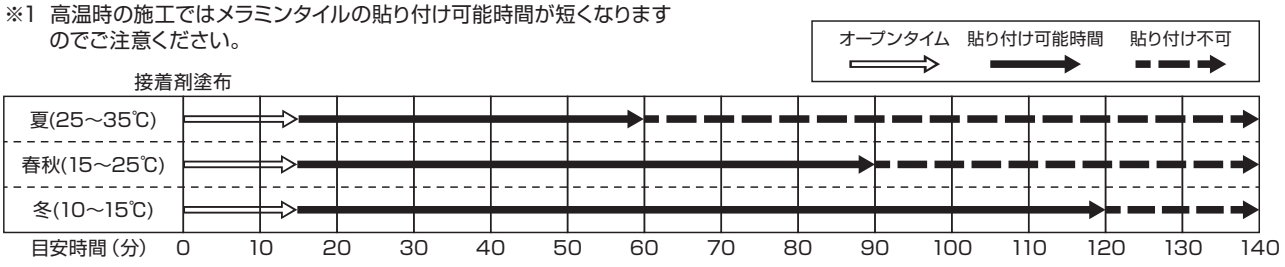
※エポキシ樹脂接着剤は反応型接着剤のため貼り付け可能時間以内に施工を完了するようご注意ください。

想定温度	オープンタイム(目安)	貼り付け可能時間(目安)
夏(25〜35℃)	15分	塗布後60分以内
春秋(15〜25℃)		塗布後90分以内
冬(10〜15℃)		塗布後120分以内

※1 高温時の施工ではメラミンタイルの貼り付け可能時間が短くなります
のでご注意ください。

■ 付属のくし目間隔 (JB-63N)　(単位:㎜)





⑥貼り付け直後にローラー等で十分に圧着してください。
端部等の浮き防止のため、貼り付け可能時間内に再圧着してください。
⑦メラミンタイル表面に付着した接着剤は直ちに濡れたウエス等で拭き取ってください。
容易に取れない場合は、メラミンフォーム(メラミンスポンジ)で水拭きしてください。

専用接着剤について

❸ アクリル樹脂系(RA-11)の標準塗布方法

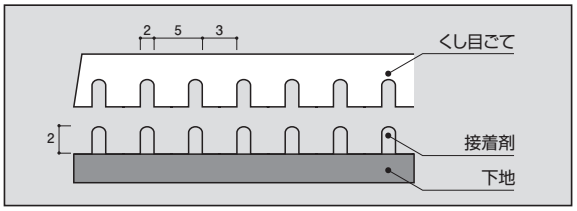
ご注意

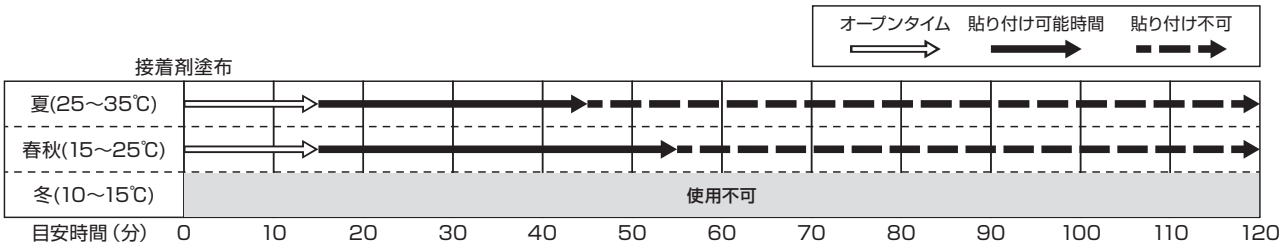
●アクリル樹脂系（RA-11）の接着剤は、15℃を超える環境下で施工してください。
●0℃以下の環境では接着剤が凍結する恐れがあります。
一度凍結した接着剤は使用することができないため、必ず5℃以上の環境で保管してください。
●吸水性の少ない下地(木質系下地等)の施工では乾燥しにくいため、
オープンタイムが長くなります。急激な温度変化を与えないようにしてください。

①施工後に耐水性が必要な場所には、ウレタン樹脂系(リリカラセメントU)あるいは
エポキシ樹脂系(JB-63N)接着剤をご使用ください。
②下地は平滑に仕上げ、十分に乾燥させてください。塵・埃・油等はきれいに拭き取ってください。
③RA-11は一液タイプなので原液のままご使用ください。
④製品に付属のくし目ごてで均一に塗り広げてください。(標準塗布量：300～350g/m²)
⑤現場環境に合わせ適切なオープンタイムをとり、貼り付け可能時間内で接着を行ってください。(下記参照)

想定温度	オープンタイム（目安）	貼り付け可能時間（目安）
夏(25～35℃)	15分	30分
春秋(15～25℃)	15分	40分
冬(15℃以下)	使用不可	使用不可

■ 付属のくし目間隔（RA-11） (単位:㎜)





⑥貼り付け直後にローラー等で十分に圧着してください。
端部等の浮き防止のため、貼り付け可能時間内に再圧着してください。
⑦メラミンタイル表面に付着した接着剤は濡れたウエス等で拭き取ってください。
容易に取れない場合は、メラミンフォーム（メラミンスポンジ）で水拭きしてください。

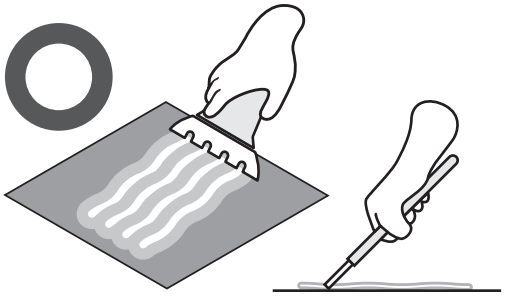
共通

ご注意

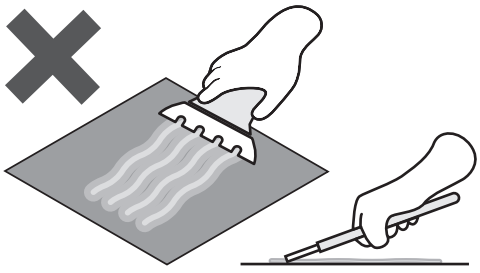
接着剤の塗布(くし目)は必ず製品付属の専用くし目ごてを使用してください。

①くし目間隔が広いくし目ごてを使用しないでください。
②くし目高さが低いくし目ごてを使用しないでください。
③接着剤を塗布する際、くし目を寝かせすぎないでください。
→ 塗布量不足の恐れがあります。

④平バケは使用しないでください。 → 均一な塗布ができず、接着不良の恐れがあります。



くし目ごてが十分な角度で塗られている
接着剤の塗布量が十分



くし目ごてが寝すぎている
接着剤の塗布量が不十分

施工方法

5 貼り付け・圧着

下記の注意事項を遵守して貼り付け・圧着を行ってください。

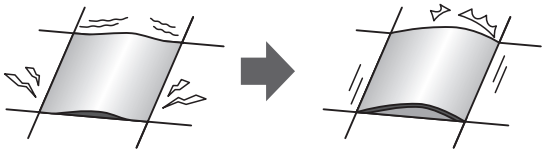
●所定の待ち時間（オープンタイム）をとり、目地ズレの無いように貼り付け直後に必ずローラー等で圧着してください。
また、壁際付近の製品端部抑えも専用治具を使うなど入念に圧着を実施してください。

●貼り付け可能時間内に45kgローラー（タイルローラー）等で全面を入念に圧着してください。

●接着剤などによる汚れや不備な点がないかを確認し、接着強度がでるまで養生期間をとってください。

●切り欠き部の貼り付け時に、ねじる、ひねる等の負荷を加えると割れ・クラックが発生するため注意してください。

●カットの際は、寸法にご注意ください。
施工箇所の寸法に合わないタイルを無理やり押し込んだ場合、反発により施工不具合が生じる恐れがあります。





タイルローラーで貼り付け可能時間内にメラミンタイル全面を入念に圧着してください。



ハンドローラー等を用いて、メラミンタイル床全体、端部や目地部などを圧着してください。



壁際等、力の掛かりにくい箇所は目地押さえ等を使用し十分に圧着してください。

ご注意

施工中や施工後の養生期間中はできるだけ温度変化を避けてください。
特に接着剤が硬化していない期間の温度変化は床材の突き上げ・目地透きなどの原因となります。

●急激な温度や湿度変化に注意してください。
急激な温度や湿度の変化が原因で、施工後床材の膨れや突き上げを発生させることがあります。

●直射日光を避けてください。
直射日光により急激に温度が変化すると、メラミンタイルは寸法変化をおこします。自動車のショールームやマンションの掃き出し窓は、直射日光の輻射熱による日中と朝夕の温度変化が激しいので、カーテンやブラインドで遮光するなど、直射日光が床面にあたらないように工夫して施工をしてください。

●高湿な場所での施工は避けてください。
コンクリート下地や空気中の過剰な湿気は床材の接着力低下に伴う膨れや突き上げを発生させます。また湿気が汚水となって床材の表面を汚染する場合があります。

6 養生について

施工後、直射日光や水洗い、冷暖房などによる急激な温度変化、重量物やキャスター等によるしごきは
突き上げ、剥がれ、凹み跡、目透きの不具合につながる恐れがあるため避けてください。

●養生は2日以上行ってください。
●重歩行、水洗いは3日以上（冬期は5日以上）避けてください。
●施工直後に床養生シートを使用した場合、メラミンタイルと養生シートの間に
水気（湿気や結露水、添剤蒸気など）がこもり、メラミンタイルの反り、不具合が生じる恐れがあります。
養生シートは接着剤が十分硬化してから使用してください。

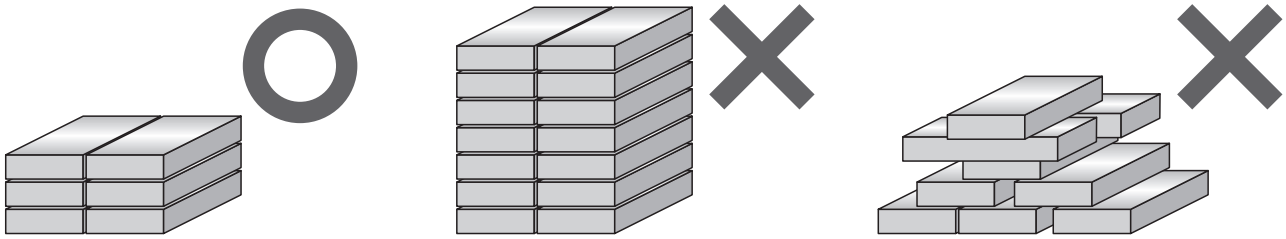
7 メンテナンス・保管について

メンテナンス上のご注意

①メンテナンス用樹脂ワックスを塗布する必要はありません。メラミンタイル本来の性能や艶、質感が損なわれる可能性があるため、ワックスのご使用はお控えください。
②ドライメンテナンスは行わないでください。バーニッシャーにより表面の熱硬化性樹脂が摩耗する可能性があります。
③メラミンタイルはお手入れ次第で美観を保ち、長持ちさせることができます。週に1～2回程度の清掃を心がけてください。
④特定の部位をこすりすぎると、表面の艶変化などの外観変化する恐れがありますので、清掃の際は表面の埃や砂等を箒で掃いた後、固く絞った雑巾やモップ、またはポリッシャーにて水拭きしてください。容易に取れない表面の汚れは、中性洗剤またはエチルアルコール(薬用アルコール)などで拭くか、メラミンフォーム(メラミンスポンジ)で水拭きしてください。
⑤ポリッシャーを使用される際は、ポリエステル繊維製の白いパッドもしくは柔らかめのブラシをご使用ください。硬めのブラシ等を使用すると表面の艶変化や傷がつく恐れがありますので、使用しないでください。
⑥清掃後は汚水をスクイージー等で速やかに回収し、床面や目地に水滴が残らないようにしてください。目地部の汚染や、滑りによる転倒の原因となる恐れがあります。
⑦清掃の際ナイロンたわしやスチールウール、研磨剤入り洗剤・スポンジ等は使用しないでください。
⑧酸またはアルカリ性洗剤・漂白剤およびシンナーなどの溶剤や、塗料・防腐剤・防虫剤などはメラミンタイルの表面を変色させたり外観を変化させたりする恐れがありますので、付着しないように注意してください。万一、付着した場合には、すばやく除去してください。

製品の保管について

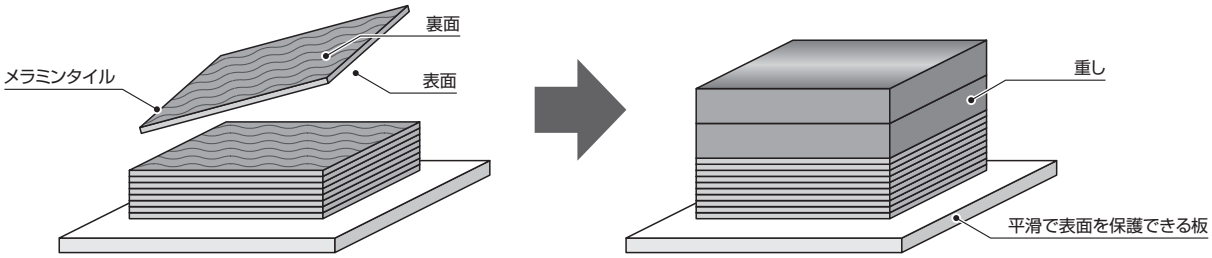
●雨水等、水分がかかる場所や日光がよく当たる場所、低高温環境では保管しないでください。
●高温高湿や低温（10℃以下）の場所は避けて保管ください。
●梱包から取り出して長期保管はしないでください。
●地面への直置きは避け、平らな場所で平積みにしてください。
●製品の移動の際の局部荷重や衝撃により、本製品に縁欠け・クラック・割れが生じることがありますので取り扱いは丁寧に行ってください。



高く積み過ぎない
落下・破損・製品変形の恐れ

乱雑な積み方をしない
製品変形の可能性

●製品の反りがある場合は、平滑面に製品へ傷がつかないように保護した後、製品を箱から取り出し、表面を下向きにした状態で積載し、室温（10℃以上）になじませて養生してください。反りが戻りにくい場合には、必要に応じて重しをかけるなどの対策をしてください。



乱雑な積載は避けて
まっすぐ積載ください。

●改良のため、予告なく仕様および価格を変更することがありますのでご了承ください。確認は最寄りの当社までお願いいたします。
●荷受けの際、必ず破損の有無をご確認ください。万一破損している場合は、運送会社の証明をもらい、至急当社へご連絡ください。また、ご使用前に製品に異常がないかもご確認ください。 後日に発見された場合は、責を負いかねます。
●印刷物につき、商品写真と実物とは相違することがあります。
●このカタログに掲載されている設計価格は、消費税抜きの価格です。 ●製品は内装専用です。
●日光がよく当たる部位に製品を使用すると、通常の屋内使用よりも早く経年変化（変色・退色）する可能性があります。
●本書に収録したものの一部または全部の無断複製・転載を禁じます。

● お問い合わせは、最寄りの当社へお願いします。

リリカラ株式会社

ホームページアドレス
https://www.lilycolor.co.jp

● サンプルのご請求はホームページより承ります。

M022-06 25.12